

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年7月13日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 15 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	低圧復水ポンプ(A)用電動機点検において、当該電動機端子箱(2箇所)内に油の浸入が認められたため、端子箱内油清掃を行うと共に端子箱のケーブル貫通シール部を修理。	G	
2	1号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)シール水圧力調整弁点検において、部品(プラグ、シートリング)のシート面に浸食が認められたため、対応検討。	G	
3	1号機	復水最小流量制御弁点検において、弁座シート面に噛みキズが認められたため、対応検討。	G	
4	1号機	復水最小流量制御弁バイパス弁点検のための同弁駆動部取り外し作業時、駆動部支持用ターンバックルのネジ固着により取り外せないため、当該ターンバックルを切断し取り外すと共に新品に交換。	G	
5	1号機	循環水ポンプ(A)用電動機点検において、上部中間カバー吊りボルトに腐食による減肉が認められたため、当該ボルトを修理。	G	
6	1号機	循環水ポンプ(B)用電動機点検において、上部中間カバー吊りボルトに腐食による減肉が認められたため、当該ボルトを修理。	G	
7	1号機	主蒸気タービン主蒸気止め弁(第1弁、第3弁)点検において、案内片バックシート面当たり確認で不良(一部当たりがない)が認められたため、当該バックシート面を修理。	G	
8	1号機	低圧蒸気タービン(C)内部車室(上側)の溶接線の浸透探傷試験において、円形状及び線状指示模様が確認されたため、当該部を溶接補修。	G	
9	1号機	復水器真空ポンプセパレータタンク出口弁点検において、弁体シート面(出口側)にヒビが確認されたため、対応検討。	G	
10	1号機	湿分分離器ドレンタンク水位調節副弁点検時、弁体シート面に浸食が確認されたため、対応検討。	G	
11	1号機	タービン建屋大物搬入口の扉閉鎖時、扉駆動部シャフト軸受ベアリング(上下2箇所)の劣化・固着により閉鎖できない事象が認められたため、当該ベアリングに注油し仮復旧。	G	
12	1号機	残留熱除去系試験可能逆止弁(A)浸透探傷検査において、同弁弁座に判定基準を超える線状指示模様(2本)が認められたため、対応検討。	G	
13	2号機	タービン建屋1階設置のプロセス放射線モニタ系バイアルサンブラックによる試料サンプリング作業において、サンプリング工程中にサンプルポンプが起動・停止を交互に繰り返す事象(通常は起動のみ)が認められたため、原因を調査後対応検討。	G	
14	3号機	補機冷却海水系電解鉄イオン供給ポンプ(A)において、グランドリーク量が多くグランド増し締めによる改善が認められないため、対応検討。	G	
15	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)電解鉄イオン注入配管において、配管詰まりが認められたため、当該配管を清掃。	G	